

# 2021年 あけましておめでとうございます



8時間働いたら人間らしく暮らせる賃金・社会の実現を求めて宮城一般労働組合 2021年春闘が始まりました。コロナ禍を克服し、安心・安全に働き暮らせる社会をつくっていきましょう。

いま日本と世界が新型コロナウイルス感染拡大のなかで未だ終息の目処が立っていません。安倍政権から引き継いだ菅義偉政権は、国民をないがしろにする政策を続け、国民の批判を受けています。

菅政権は昨年12月21日、2021年度予算案を閣議決定しました。国民や中小企業へ冷たい政策です。コロナ対策の持続化給付金や家賃支援給付金の再支給も、医師・看護師・保健所職員不足の解決策も、医療機関への減収補填もなし。社会保障費自然増の1300億円を削減します。一方、不要不急の軍事費は最高額を7年連続更新し5兆円を越えています。日本医師会も同日、「医療緊急事態宣言」を発表し、「医療崩壊を防ぐためにも最も重要なのは新たな感染者を増やさないこと」。「適切施策」を政府へ求めました。感染を終息させるためにも、「人権を尊重した対応」こそ、成果を生み出すと国連が警告しました。

宮城一般では、コロナ禍の影響で経営が大きな打撃を受けた大学生協支部。学生の対面からオンライン授業になったことから生協食堂や購買などの利用が大幅に減少しました。雇用調整助成金の活用で多くのパートが休業を余儀なくされました。医療・介護支部では緊張の中での仕事が求められました。自粛の中での組合活動はこれまで以上に組合員に寄り添い、組合員の声を丁寧に集約した活動ができました。

2021年春闘は、雇用と生活を守るために要求は自粛せず、仲間と話し合い、実現させたい要求をとりまとめ、実現に向けた一歩を踏み出しましょう。

宮城一般は、平和憲法を守り、全国一律最低賃金と中小企業振興の二大運動の推進、まともな労働法制、消費税減税、安心できる社会保障や教育などの実現のために引き続き力を注いでいきます。最低賃金は今すぐ1000円、そして1500円を求めた運動を組合員一丸となって展開させていきます。

また、非正規労働者の均等待遇を実現するチャンスの春闘です。2019年4月から大企業で、2021年4月から中小企業も均等待遇が義務付けられました。今春闘は格差是正のチャンスとなります。昨年の最高裁判決で、扶養手当と住居手当について正規と非正規で格差を付けることを違法としました。職場での点検をしましょう。

広島・長崎に原爆が投下されて75年、被爆者の方々と核兵器廃絶を求めてきました。多くの国の批准で2021年1月21日に「核兵器禁止条約」が発効されますが、当事国日本政府が批准するよう引き続き署名などでの運動を強めていきます。

今年は仙台市長選挙、宮城県知事選挙が予定されています。その前には総選挙が確実にこなわれます。市民と野党の共闘で、県民・国民の声が活かされる政治を求めて奮闘しましょう。

私たちが安心して暮らせる社会を築くためにも憲法改悪阻止、日本を破滅の道へ導く政治からの変革を求めて、大いに奮闘しましょう。

2021年1月8日

全労連・全国一般 宮城一般労働組合  
執行委員長 布間 きみよ

追伸：宮城一般「新春旗びらき」はこの間、みなさんの参加の下、楽しく開催してきましたが、コロナ感染拡大で自粛をすることが余儀なくされました。よって開催はしません。残念です。一日でも早く終息できることを願っています。